

鑑賞：彫刻について

年 組 番 名 前

学習のの目当て 彫刻について学び美術や、美術文化に対する関心を高めることができる。

彫刻とは 美術的な鑑賞を目的として、様々な素材を用いて立体的に制作された芸術作品のこと。
(木や石を彫り込んだ作品だけでなく、立体作品の全般を含める)

彫刻でよく使われる材料

石の彫刻

石の彫刻は大きな一塊の石からノミを使い掘り出すことが多いです。西洋では大理石から掘り出した作品が多く作られました。



↑パルミーニ「シピオーネ・ボルゲーゼの肖像」

ブロンズ(銅)の彫刻

ブロンズの彫刻は粘土で作った形の型を取り、その型に熱で溶かした銅を流し込む鋳造という技術で作られたものが多いです。



↑「剣闘士」

木の彫刻

木の彫刻もノミやチェーンソーを使い掘り出すものが多いです。1本の木から掘り出す一木造りや複数の木を合わせた物から掘り出す寄木造りなどがあります。



↑ロン・ミュエック「boy」

FRP(樹脂)の彫刻

FRPとは繊維でプラスチックを強化したものです。樹脂は軽くて強いなど多くの長所があるため複雑形状でも強度を保つことができます。樹脂の彫刻も粘土や発泡スチロールで作った形の型を取り樹脂に置き換える技法のものが多いです。



←ヤノベ ケンジ「サンチャイルド」

ミクストメディアの彫刻

1つの材料で制作するのではなく、性質や種類の異なる複数の素材を使ったものを「ミクストメディア」と呼びます。材料による制限が少ないので幅広い表現ができます。



名和 晃平「PixCell-Elk」

テラコッタ(焼き物)の彫刻



←兵馬俑

鉄の彫刻



↑オシップ・ザッキン

一般教養として知っていて欲しい彫刻家

ミケランジェロ

ルネサンス時代の芸術家で、レオナルド・ダ・ヴィンチやラファエロと共にルネサンスの3大芸術家に数えられる。



ミケランジェロ



ミケランジェロ「ピエタ」



「ダビデ象」

オーギュスト・ロダン

フランスの彫刻家。19世紀を代表する彫刻家とされ、『近代彫刻の父』と称される。



ロダン「青銅時代」



ロダン「考える人」



ロダン「地獄の門」

2年2学期課題「感情から発想して石に表現をする」(参考資料集 p118)

課題の内容

「感情」というテーマから自分なりに発想して石を彫刻して表現する。

課題のルール

・石を使い自由に表現していいが、それを読みとり評価をすることが難しいため、制作の最後に「表現の意図、表現の説明」を別の用紙に記入し、その用紙と作品を合わせて評価をする。

今回の単元の評価規準

関心・意欲：・意欲的に課題に取り組み、課題の目当てを身につけようとしている。

・制作時間いっぱいまで課題に粘り強く取り組もうとしている。

・作品や必要な用紙が提出されている。それらから十分な思考や作業の量を読み取ることができる。

発想・構想：・「感情」から自分なりに考えを持ち、石という素材に表現の発想することができる。

・発想したことについて具体的に細かく説明することができる。

創造的な技能：・発想したことを表現するために道具や材料、技法を工夫して制作することができる。